



①講演会では三屋さん自身の経験をもとに、スポーツの素晴らしさを来場者にうったえかけました
②道の駅国見あつかしの郷を訪れ、太田町長から町特産のモモの出荷状況を聞く三屋さん



東京 2020 応援プログラムの一環として開かれた本講演会では手話通訳も行われ、多くの来場者が三屋さんのお話に興味を持って聞いていました。



①沢木さんとデュオを組む田辺進三さんをゲストに迎えたステージでは、二人の美しい歌声がホールに響き渡りました ②フラダンスで会場を盛り上げる国見フラクラブのみなさん



パワフルな歌声を披露する沢木さん。石川容子さんの美しいピアノ演奏との“共演”は、多くの観客を魅了しました。

国見町応援大使 三屋裕子 講演会 in 国見

元バレーボール全日本代表で国見町応援大使の三屋裕子さんの講演会が7月21日、観月台文化センターで開かれました。講演会は、『スポーツを通して交流連携！』をテーマに行われ、三屋さんは、「地域におけるスポーツ活動が人々の健康を作っていく。日常に少しでもスポーツ活動を取り入れてほしい」、「真剣に勝負に挑んでいる人の姿を生で見ると心が動かされ、何か行動を起こすきっかけになる。

スポーツを「する・観る・支える」社会へ

2020年の東京オリンピックは最高のチャンスです」などと来場者にうったえました。三屋さん自身のバレーボール選手としての経験と、現在もスポーツを通して幅広く活躍している三屋さんの話は、多くの来場者を魅了しました。講演会は、東京2020応援プログラムの一環として開かれたもので、来場者全員で2020年に東京で開催されるオリンピック・パラリンピック大会への機運を高めました。

- 元バレーボール全日本代表
- 公益財団法人日本バスケットボール協会会長

国見町応援大使
三屋 裕子さん

平成 25 年に国見町応援団ツアー団長として国見町を訪れて以来、あらゆる機会の特産のモモをはじめとする町の魅力を全国に発信。また、講演会やバレーボール教室の開催を通して町に元気を与えている。平成 29 年 4 月、国見町応援大使を委嘱。



国見町応援大使 沢木順 ミュージカルコンサート 2018

ミュージカル俳優で国見町応援大使の沢木順さんのコンサートが7月7日、観月台文化センターで開かれました。今年で13年目を迎えたコンサートは、『慕情』で幕を開けると、沢木さんはミュージカルやシャンソンの名曲など、約30曲を情感情豊かに熱唱。ゲストに田辺進三さん、ピアノに石川容子さんを迎え、3人による美しいハーモニーで観客を魅了しました。また、ステージには国見フラクラブのみ

会場を魅了 圧巻の“13年目のステージ”

みなさんが特別出演し、華麗なフラダンスを披露して会場を盛り上げました。沢木さんは、「お客さん一人一人のパワーに圧倒されます。震災直後よりもみなさんの「元氣」を感じました」とコンサートを振り返り、「帰りにみなさんが『来年も来るよ』と声を掛けてくれます。その温かさが私のパワーになります。来年はさらにグレードアップした姿を披露したいです」と、14年目のステージへの意欲を語りました。

■ミュージカル俳優
国見町応援大使
沢木 順さん

平成 18 年に第 1 回目のコンサートを開いて以来、毎年国見町でコンサートを開き、ミュージカルの魅力を伝えている。東日本大震災時には、全国各地のコンサート会場で国見町への義援金を募るなど、国見町の支援活動に尽力。平成 28 年 7 月、第 1 号となる国見町応援大使を委嘱。

